

第6回 第6分科会会議録(概要)		場 所	新宿区役所 第一分庁舎 7階 研修室
日時	平成17年9月17日 午後1時00分～午後3時00分	記録者	【学生補助員】 鈴木 昂、平 佑貴
		責任者	区事務局(荒井)
会議出席者:50名 傍聴者0名 (区民委員:42名 学識委員:3名 区職員:5名)			
<p>■配布資料</p> <p>①進行次第</p> <p>②参画・協働・自治・コミュニティ・多文化共生・地域安全</p> <p>③今後のすすめ方に関して</p> <p>■進行内容</p> <p>1 開会</p> <p>2 運営委員会について</p> <p>3 検討</p> <p>4 次回の会議開催について</p> <p>5 閉会</p> <p>■会議内容</p> <p>【発言者】●:区民委員、◎:学識委員、○:区職員</p> <p>1. 開会</p> <p>◎:(伊藤)お集まりいただき、ありがとうございます。今日初めに、私から、ごあいさつがてら「参画・協働・自治・コミュニティ・多文化共生・地域安全」の説明ペーパーを作りました。</p> <p>この会議の中では、議論するものが沢山あります。ここでは、参画・協働・自治というような大きな事を議論する。こういった事を議論するには、この会議自体も民主的な運営がなされなければ意味がないと思います。前回、皆さんが提案された、運営委員会を作って、皆さんで会議を回していくということは、まさにそういった合意だと思います。</p> <p>今日のペーパーですが、大学の授業で使っている資料でもありますが、日本の中での地方自治の動きを、4期に分けてまとめたものです。1945年から始まって、戦後の60年間。今、皆さんがお忙しい時間を使って、区民会議に来られていることは、後で見るとこういった大きな流れの中のひとつをやってきたのだ、と思われるかもしれません。</p> <p>戦後の45年から今まで60年間を見れば、行政と市民が一緒になってこうやって議論するというのは、普通ありえなかったと思います。行政は批判の対象だった訳ですし、戦わなければ物を達成できなかった時代もあった。それが、60年経て、やっと行政・市民、市民と市民が議論しあって、合意をしながら前へ進めていくという姿が、少し見えてきたのかと思います。皆さんは、これからの地方自治とか、10年・20年後、どんな新宿区にしようか、方向性などを話し合うということで集まっているので、10年たった後、今日ここで議論したことがこんな風になっていると、それを合意の中で作れたらいいなと考えます。</p> <p>この資料の見方ですが、P1の1945年ってところを見て頂くと、左のほうに地方政治の動きがあって、吉田茂さんから、歴代の首相と地方政治の動きがあります。真ん中のほうに地方自治の法制度が、その都度載っているようなペーパーになります。60年間の間に、市民の方々の思いや色々な憤りや色々なものがぶつかりながら、それをまた国や自治体が受け止めながら、制度化していく。そして、一回出来た制度自体は問題がありますから、それを壊そうという動きが始まっていく。その繰り返しの中で、60年</p>			

間が動いてきたし、2005年の今になっていると思います。

ここでの議論が無駄にならないように、区長にきちんとそれを提示する。皆さんが合意して『これでいくんだ』という、区民の方の譲れないものを議論して、それを前に進めて区長に提案する。それが区民会議の役割だろうと思っております。

今日のテーマに戻りますが、運営委員会をきちんとつくって、その中で皆さんの意見をきちんと通るようにしていく、ということです。私から話は終わらせて頂きますが、次は、土屋委員がペーパーをまとめており、運営委員をどうするのか、その議論に入っていきたいと思っております。それでは、お願いします。

◎：(土屋)「今後の進め方に関して」という資料が配られていると思います。分科会の運営方法について、提案させていただきます。

当初、事務局に当面の暫定的な取り決めとしての「運営方法案」を作ってもらいましたが、前回の会議で皆さんから当面の案に従うのはもうやめたらどうか、という声が多数、出たわけです。学識委員を中心に相談しまして、まずは運営委員会を立ち上げ、代表の方に出てきて頂き、運営方法や分科会の方向性は、運営委員会で議論してはどうかということになりました。そこで、今回、運営委員会設立の具体的な提案をさせていただきます。

委員会の設置目的とありますが、分科会運営に関わる基本事項を検討して、各班活動の連絡調整を行う、ということを目指してはどうか。当面は、月2回、分科会の前後の時間を使って、1時間程度ずつ。例えば1時から始まるわけですので、午前中11時からや、会議が終わってから休憩をはさんで一時間程度の開催を想定しております。

必要に応じて、中間発表や提言の段階、また時間の拡大など、もっと頻繁に開催する可能性もあります。

運営委員会の検討する基本的事項ですが、現時点で想定するものですが、大まかに言って、5点ほどあります。

① 分科会の進行管理

検討課題の順番ということですが、年内いっぱい、どういふことをどういふスケジュールで議論をするのかを決めなくてははいけない。

次に、来年の2月に中間発表が予定されている、中間発表に向けた取り組み方。プリントの最後に、基本構想・基本計画・都市マスタープラン策定スケジュールがあります。これによりますと、現在、平成17年9月で、来年2月には中間発表がある。この段階では、現在の班レベルの議論を、いつまでに、いかに、第6分科会として、まとめていくのか検討しなければならない。続いて、来年6月に区長に提言をする段階になるわけですが、中間発表後、運営委員会は、みなさんがどれだけ意見をまとめるか、3月くらいでしょうか、成果物(提言)を作る為の進行管理を行う。ここでするのではなくて運営委員会で議論してはどうか。また、フォロー会議も、事務局から見直してはどうか、という意見もでているので、それも議論してはどうか。

②分科会活動の支援方策

前回は区民委員の方に報告してもらいましたが、会議の前に区民委員の報告してもらうのは、継続してやっていくのが良いと思っております。その報告者も事務局で選ぶのではなく、運営委員で選んでいく、ということです。

また、必要な行政情報の、調査・検討・開示要求ということですが、班で議論していて、こういう情報をもっと欲しい、こういう事を知りたい、自分がこういった情報をもつ

ている、それらの情報を分科会で共有した方がいい等のお考えもあるかと思ひます。それを区民委員でとりまとめる方が、今はいらっしやらない。そういう役目も、運営委員の方に担ってほしい、と思ひています。

また、町歩き・学習会などの検討・決定ですが、例えば、多文化共生のテーマを議論をしていて、新宿区は外国人が多いが、地域によって外国人の数に偏在がある。区の現状を学習する意味で、大久保あたりを歩いてみるなどの必要性を区民委員の方は感じてらっしやると思ひますので、運営委員会で企画してはどうか。

また、懇親会の開催ですが、親しくならなないと、思ひきった議論はできないだろうと思ひますので、こういったことも運営委員会の場で検討してはどうか。

また、班の自主活動を充実させる為、どうしたらいいかも議論するということですよ。

③提言作成に向けた体制作り

起草委員会などの設置の検討と書きましたが、中間発表の前あたりから問題になる事項だと思ひます。実際に、提言の文言、文章を誰が書くのかということがあります。

班の議論の成果を、いかに第6分科会の全体の意見として表現するのか、区民委員の皆さん一人一人がお書きになるのが良いのですが、現実的にはそれは無理ですよ。何人かの方が書き上げる、誰が書くのか、書く人を委員から選ぶのか、運営委員がやるのか、まだ分かりませんが、それも運営委員で決めていく。

また提言に盛り込む事項の調整ですが、最終的な提言のボリュームや形・形式などをどうするかということですよ。例えば、A4サイズの冊子にしよう、などは分科会ではなく区民会議の全体レベルで決めることだと思ひますが、どのくらいの分量、何ページに収めるかなどは重要ですよ。あまりに分量が多すぎると、区民の方に読んで頂けないし、少なすぎても、皆さんの意見が反映されにくい。

提言の形式は、区の形式に即す必要はなく、運営委員で決める。市民に分かりやすいものにする。第6分科会は多文化共生を議論しているから、外国の人にも分かりやすくするなど、表現形式、提言の見せ方にも注意を払う必要がある。こういった事を運営委員会で議論する。もともと、分科会だけではなく、会議全体で決まってくることもあると思ひますが、決まったことに関してはルールに従って、その中でいかに第6分科会の色を出していくかが勝負だと思ひます。

④分科会のリーダー、サブリーダーの選出について

配布しました資料の P4、5を見てください。今までは事務局や学識が仕切っていましたが、(リーダーを)もうそろそろ選出しても良いのではないかと、いう事ですよ。

また、運営委員会で、その選出方法も議論してほしいと思ひます。

⑤その他、必要事項

例えば班替えですよ。前回会議でも班替えしたくない、今までの班でやりたい、というご意見もありました。これまでは学識として、班を固定して、交流もないまま班活動が進んでしまうと偏った意見といたら語弊があるかもしれませんが、やはり分科会全体として議論して頂きたい、ということですよ。進めてきたわけですよ。

今後は申し訳ありませんが、とりあえずは新しいこの班でやって頂いて、班替えを行うかどうかも含め、運営委員で議論してはどうでしょうかと。

具体的に委員会の構成は、区民委員の代表(10名前後)と、学識委員(3名)と、事務局を区職員が担当する、というのがご提案ですよ。

区民委員の代表を限らせて頂いたのは、委員会の場で物事を検討・決定するには、常識的に15名程度がぎりぎりではないかと思えます。我々学識委員も、入って皆さんと議論したいと思っておりますので、区民委員は多くても10名前半という事になるかと考えております。

運営委員会の役割は、第6分科会の全体の調整役と各班の意見・要望を伝達する、班相互の連絡窓口としての役割も考えております。原則、交代制とはせず、区民会議終了まで継続して勤めて頂くことを想定しております。会議終了までと書きましたのは、提言の作成がメインイベントですが、区長へ提言の提出後、区長が基本構想審議会と都市計画審議会に計画について諮問することになっています。両審議会が区民会議の提言を基に考え方をまとめることになっています。そして我々は、審議会の考え方に対して、11月頃に意見提出をする予定です。運営委員の方には、そこまで区民会議を引っ張ってもらいたい、責任を持って務めていただきたいという思いを込めまして、終了までと書かせて頂きました。

続いて、運営委員会全体のイメージと、班での役割ですが、具体的に運営委員が班内でどういう役割を担うのか、いくつかのパターンを考えてみました。

A案:運営委員を各班から1名出し、班内での調整役、司会役を兼任する。仮に班替えをしても運営委員は同じ班の班長を継続して務める。

長所は、分科会の運営を班の運営を緊密に出来るが、負担が重くなる。(班替えをしても、班長はそのまま)この案では、運営委員は6名程度になる。

B案:委員を2名出してもらい、班では班長と副班長となる。

7班あるので、14名くらい。学識委員が3名入る。この案では負担の重さが軽減できるということと、運営委員に出られる区民委員の方が多くなるということです。

C案:委員は各班から2名出してもらおうが、班内の役割は班に任せる。(班ごとに決める)個々人の負担が軽くなるが運営に携わる人が多くなる為、コミュニケーションを密にする努力が必要です。各班2名で、14名になると思います。

運営委員会を設置することに同意して頂けるなら、役割等を中心に議論してはどうでしょうか。ただし今日は、欠席者もいるし、前回決まっていたのは運営委員会についての議論までで、委員選出までは決まっていないので、選出の方法などを話し合うにとどめ、次回の10月1日に選出してはどうでしょうか。

○:ご質問があれば伺いたいと思えます。

●:班の構成メンバーは、今回、入れ替えがありました。3月までには、再度入れ替えることも考えているのですか？私は、たくさんの人と交流、意見交換ができるよう、2ヶ月に一度、班替えをするのが面白いと思えます。

◎:5番目の「その他」で説明したと思えますが、班替えをやる、やらないの判断も、その頻度も含めて、運営委員会で議論してはどうでしょうか。こうやれば、必ずいい、ということはありませんので、やりながら考えていくのがベターだと思います。

●:いまの話は、結論からいうと、「みんなで考えましょう、決めましょう」という事だと思いますが、これまでの6回の会議で、前回の成果物がでている前回の班と、ごあいさつ程度の今の班のどちらにウェイトを置くのでしょうか？私の意識の中には班が二つあります。未来の話は分かりましたが、過去の話を少し整理してから次に移ったほうが良いと思うのですが、いかがでしょうか。

◎:原則として我々は第6分科会全体としての活動、議論をしていることを基本に考えて欲しいと思えます。そのためにも各班の成果物を共有する方法を考えなくては行けない。事務局でも、さらなる情報提供のため成果物を1つの資料にまとめようとしていま

- すが、各班のオリジナリティあるもののため出来ていません。各班ということではなくて、それを受けとめていく、ベースは分科会であると考え議論して頂きたいと思います。
- : 私は、運営委員を設けて、5、6名の各班で1名を選ぶやり方でやって頂きたいと思います。
 - : 学識委員のお話のとおり、基本となるのは第6分科会全体ということによいと思うが、時間の問題と方法論として教えて頂きたい。これまでの班で突っ込んだ話をしたのに、班替えによって結局、最初からやり直しになってしまう。方法論として(検討から提言に向けての進行管理)現在ここまで来ていますという、KJ法ならKJ法でのガイドラインを頂きたい。この第6分科会が一番大変なところを担当しているという覚悟が必要です。我々が今、議論しているのは項目だけで、あの時はこうだった、あの時はこうだったと後で大変なことになる。どういうストーリーやイメージでまとめていくのか、班ごとにやり方を任せるのではなく、ガイドラインを頂きたい。以前、高齢者問題のことで内閣府に提出したときはフィッシュボーンの方法を利用した経験からも(資料を提示しながら)、相当深めた議論をいろいろな人と話していかないとまとまらない。議論の項目だけを出すのではなく、掘り下げていかないといけないので、協働としてのガイドラインを頂きたい。
 - ◎: 協働というのは分かるが、具体的にどうやるのか、というお話ですよ。
 - こうすればベストであるというのは、示すことが出来ませんので、運営委員会で決めていくのが一番いいのではないのでしょうか。三鷹の21会議で自分が見聞きしたやり方が通用するとは限らないし、新宿区には新宿区のやり方があると思います。
 - : 期限は3月まで。それまでに、どれだけのテーマをどの月にどれだけ設定するのか。テーマに合わせて班構成を変えてもいいと思います。先に運営委員会で、会議のスケルトンを作ってはどうか。この会議が、何を勉強するのか、どういう方向で何をするか、スケルトンを作ってはどうか。時間割を作って、何を議論するのかの、草の根の沢山のものを吸い上げて、方向性を見つけ出すことが大事と思う。
 - : 私達はすでに、最初の回に頂いた6つのテーマにそって、最初にコミュニティ、2. 多文化共生を、今回、地域安全を話し合っております。2月までに協働と、自治制度を何とかしないといけない。より広い方法を、学識の人が選んでくださったと認識しております。一人の運営委員が出ると、病気になったとき、休んだときにダメだから2名なのかもしれない。今の6つのもので、リンクしているもの、分かれているものは、運営委員会で話し合っただけのテーマ、次のテーマと進めていけば、スムーズに行くのではないかと、いう理解したんですが、いかがでしょうか？
 - ◎: その通りです。我々が想定していたのは、皆さんが運営委員をやりたいとおっしゃるのか、仕事が忙しいからやりたがらないことが多いのか、分からなかったのが各班1、2名とさせて頂きました。A案、B案、C案をベースに、次回、選出に持っていけないかと思っております。
 - : それでは、各班ごとに、運営委員会の目的・選出などについて、10分間、ご議論をお願いいたします。その後、ご意見を頂きます。よろしくお願ひします。～15分経過～
 - : では、各班から、ご意見を述べてもらいたいと思います。
 - 1班: 沢山のメンバーがいらっしゃるので、運営委員会が必要だと思うのですが、原則的には皆さんイコールで全員参加ということじゃないかなと思うので、副班長をなくしたC案(運営委員2、班長1名)で、班長は輪番制がよいと思う。班長さんは、庶務(議事録)をやっていただく、ということで提案させて頂きます。
 - 2班: そもそも、いずれの案も運営委員が固定されてしまう。運営委員が固定されると、委員の主観・意見に左右されてしまうのではないかと、という意見が出ました。しかし、提案されたものは、いずれも固定案。一応、C案が、この中ではより柔軟性に富んでいると

いうことになりました。

3班: 全員参加がベースではないかということで、C案。運営委員が班長・副班長だと責任の持ち方が変わってくるのでやめて、班長はいるが、あくまでもとりまとめ役としておく。運営委員は、(別に)2名出す。Cの3班。その他、運営委員が何らかの形で出られないときは、メンバーと一緒に運営委員会に出たらどうか、などの意見も出ました。

4班: 色々と意見が別れたのですが、一応、C案で。(資料の)真ん中の2班形式。ただし、色々な意見が集約できるように考えていきたいと思っています。こういう形で、運営委員は、2名。

5班: 結論として、B案です。1つの班から2名。全員参加の建前から、運営委員は、班の皆様のご意見を良く聞いて、運営委員のご意見、考えを持ち帰る、ということでございます。あまり班長が大勢だと、入り組むということで、兼ねる、ということでございます。

6班: 全員一致で、運営委員会を作ることに賛成です。運営委員2名、班長さんは1人、という希望です。案は、C案です。

7班: C案になりました。負担が一人にかかるというのは、大変だから、2人ということで。

○: 7班全部聞きまして、今日の一番合意を取れたところは、全て選出は2名ということでは決ったということですね。運営委員会を作るということと、選出は2名ということで、よろしいでしょうか。拍手して確認したいと思います。(承認の拍手)ありがとうございます。中身に関しては、運営委員会を立ち上げた後に、細かい中身を決めていきたいと思えます。意見の違うところはあるかもしれませんが、いずれにしても2名を選出する。次回に選出を誰かを決めてくる。ということでいいのではないかと、また運営委員会を立ち上げることで合意が取れたことで、了解、全員一致でした、ということですよ。

次回出られない方もおられると思えますし、自薦・他薦、これは各班で2名を選ぶということまで決まっておりますので、どなたを選ぶか、もしくは自分が出るかということで、お願いします。

●: その運営委員、班長の選定方法についてひとつ意見があります。若い人が非常にいなくなった、ここの分科会で、そこについてはきちっと反省すべきだと思うんです。前回の議論で若い人がいれるような状態ではないのではないかと。だからこのグループの中で自薦・他薦で例えばこのグループの中で過半数を占めたからといって、いろいろな意見が出てくるわけでしょう。言えることは言えるのですが、結果として少数の意見が切り捨てられるような、あるいはその人が先導するような、その人と同じ考え方・視野を持っている人たちで運営はされていくでしょうが、そうやって片方の方向に進んでいくのは、危険ではないか。行政機関の補完的な意味合いで区民会議が設置されているのかという問題もある。私は区や行政から離れた形で、話を進めたい。答申の内容についても独立した形で意見を言っていけるような場にしないといけない。構成要素、要因をいろいろな形で議論しましょう。年齢層、性別、職業とか。このままの班編成で進めるのはどうなのか違和感をおぼえます。

●: 代替はあるのですか。

●: 代替案は特にありません。

◎: たぶん言われていることは、マイノリティの意見を尊重しなさい、といった多文化共生の大きな話であるし、外国人、障害者のみかたをきちんとしなさいということ。付帯意見とのことで受けとめたいと思います。各班2名を選ぶと決まっているわけで、しかし、そこで選出された運営委員によく考えてもらおうと、いい意見を出さなくてよいので、区民としての意見を出すために来ているわけで、自分たちとしてどうするんだというためですので、そういう付帯意見としてとらえてよろしいですか?(拍手)

- : 先程の意見に賛成です。マイノリティの意見を大事にせよと。ここでも話したのですが、グループの編成は、どのようになされたのか前の班では外国人がおられ貴重な話が聞けた。これから運営委員は貴重な役目を担うだろう。運営委員の選出基準を明確にしたい。民主主義的にやろうよという中で、例えば外国人を入れないと、日本人ばかりの代表で、多文化共生は話せない。意見を集約されたようなお話をされたようですけども、ちょっと危険だと思います。
- : 実は、7班は時期尚早ではないかとまとまっていた。なぜその意見を言わないかというんじゃあどうしたらいいんですかという答えが生まれなかった。運営委員がでなければ、運営を区から区民に移す必要があるんだ、という焦りも見えている。成果物の中で、運営委員を決めるのがいいのではないか。これもひとつの方法なので、必ずしも私の意見が正しいとは思ってないですが。ただ、運営委員を大至急決めなきゃいけないことは一致していると思います。先ほどの方などがおっしゃっているのは選出基準を明確化しないと誰がなっても同じ、おんぶにだっこになってしまうと思います。
- : 前回のときに班替えの件で、ああいう班替えをするなら、行かないという人もいた。前に戻ってしまいますが、そういうことも頭に入れて、考えて頂きたい。
- : これは最初のメンバーではなく、役所の方が違うメンバーで組んだのですよね。いろいろな班があって、アランダムというのか、その班でいろいろな意見が出て、運営委員さんもその班の意見を持ち上げて、変に均等化しないほうが、区民らしい、色々な意見が出て良いのではないか。こうあらねばならぬはないが、班を変わりまして皆さんと親しくさせて頂いているので、こういうことに慣れてきたからかもしれないと思います。
- : 班は、これだけのメンバーの中での便宜上のもの。発言が反映されているかといえば、KJ法の中で皆さん思っている意見は言えているはず。班がどうの、というのはこだわらなくても良いのではないか。
- : 基本的に、お考え頂きたいのは、(出席している)ここにいる人だけが区民会議の委員ではない。先ほど日本人だけという話も出ましたが、外国の方も何人かいらっしゃる。そのほか、広範な人が委員になっているので、様々な人が委員になっている。迷うところもありますが、全体の中から選んだほうが良いのではないか。外国の方の負担にはなるかもしれないが、何人かで参加してもらおうとか。今日来ている人だけで決められる問題ではないんじゃないですか？
- : 運営委員というのはまとめなければいけないし、課題もあるし、きちんと属性ごとに割り当てるのは、無理ではないか。時期早尚ではとっていましたが、代表がきちんと他の人の意見も代表すればいいこと。いろいろな特徴を持つ人を同じような割合で会議に集めるのは不可能だと思う。ここに集まった人も(外国人の声を聞く機会を設けるなど)外的な枠で考えるのではなく、決めたほうが良いのではないか。仮に自分がそういう状況になくても、委員になれば、例えば外国人の方がいない場合でも、意見を聞く場だとかをつくれれば。年齢、男女で取り入れた枠で考えるのではなく、12、14名を決める必要があると思います。それが今日ではなく次回でしたら今日出席されなかった方も次回来られると思いますし、早くに決めたほうがよろしいかと思います。
- : 会議録には掲載しているのですが、分科会関係の出席者の人数を読み上げてみたいと思います。第2回は、43名とフォローが15名、7月は58名、8月は38名とフォローが12名、発表の時は37名の参加。(前回)9月は33名、フォロー会議8名です。大体20名が欠席。連絡なしは10名くらい、あとは連絡を頂いているという状況です。

なお、委員の構成ですが、募集した時に外国人の方の枠を何人とか、人口統計で30万区民のうち男女規模を縮尺して100人規模にするとどれくらいだというなどを一切せず、手を挙げていただいた方になって頂いています。ですから年齢層、男女比も

比率から言ってバラバラです。まして外国人の方の委員の比率が実際の住民の10パーセントになっているかというのもなく、この分科会でも3人程度の方と思います。情報だけ報告させて頂きました。

◎：先程から選出基準を明確にしたかどうかということが問題です。皆さんには、この会議にいかに入ってきたかを考えて頂きたい。そもそも男女比で選んだか？世代で選んだか？そうじゃないです。やりたい方が手を挙げて、無報酬で時間もかかる、にもかかわらず私はやりたいという気持ちで出てきた。その会議の運営を決める、そのときにわざわざ世代とか年齢とか、入れますか。私は、それは理に合わないと思う。基本的にはやりたい方が、出ているのだからやりたい方がベース。もうひとつは、皆さん区民ですから区民の方を信頼して頂きたい。そして監視もする、私たち学識委員も議論がおかしくならないように入る、自発性とお互いを信頼する、ここがなければこういう分科会は成り立たないと思います。もちろん、年齢、世代、外国人に配慮すべきだと思います。でもそれで意見が固定ですか、そんなことはない。議論をしていったら意見は変わっていきます。まずは自発性とお互いの信頼、そこをベースにして次回に選出する、そういう風にしてはどうですか？そこで問題があったら、再度こういう風に全体で議論すればよいと思います。

●：たびたびすいません。私は説明会からこのことはお話していました。この指とまれ方式で手を挙げてあたかもだけれども、定員100人をどうやって決めるのかと。結局こういう形になった。ですから第1回の時から言ってますが「話はまとまるんですか」、「これだけの組織、大丈夫なんですか」と、言ってるんです。信頼しましょうではなく、入り口の部分から崩れちゃってるから。それだったら今までみたいに100人で大体17名の分科会のはずだったのが、400人いる時点でおかしい。それで一方的に「あんたたち手を挙げて集まったんだから」というのがね。やっぱり見方が違うと思うですよ。みなさん、紙書いた人どうぞと最初からうたっていれば混乱はしないですよ。障害者問題をやっていたので、もともと第2分科会に行きたかったんです。でも、なぜ第6分科会に来たかといえば多文化共生とかいろいろな人たちがいたから。障害の枠に障害者の人たちが入ってしまうとそれで終わってしまう、障害者対策になってしまう。だから第6分科会にわざわざ来たのに、そういう言い方をされると私はおかしい方向ではと思います。

●：班も大事、運営委員も大事ですが、個人の意見が尊重されなければいけないと思う。運営委員の役割はまず調整役、班の意見を伝達する窓口、班相互の連絡を行うということで2名選出です。このことは承認済みだと思います。そのなかで6グループは班長を設けて、班の方向性を決めて決まりました。班長は進行役、運営委員はこの会の進行役、それで大事なのは私たちが班に戻って個人の意見をどのくらい持っていかです。運営委員の資質よりも第6分科会の意気込みのほうが大事なので、その問題に立ち返る。このぐらいの時間を費やしたので、これからの30分は、前に向けた議論にしませんか。(拍手)

◎：先程から様々な議論がありました。班替えをしたことから、おかしいじゃないかと始まり、その議論の場所が運営委員会になるわけです。皆さんと私たちが前に進めていくんだという話。先ほどの話でマイノリティ、選出基準の話がありましたが、前へ進めたい。今までどおり行政が決めてとはならなくなるかもしれませんし、皆さん方の意見を出す場所としてはきちんと作っておく。リスクいかもしれませんが、どうやって決まったかを運営委員会で、仲間が議論していく。密室の中で決まって班替えが出てくることはないんです。どういう議論があったかは、全部流れてくる。皆さんと運営委員で議論する、何を議論しているかをちゃんと見ておくということで問題はないようにできると思います。マイノリティ、さまざまな問題は今のままでいったらおかしくなるかも。でも行政で

はなく皆さんの意見を前に出していくためには代表者が必要です。自分たちの代表者を出すのが大事。毎日毎日やってきたこと、これからもつながる、どう変えていくかは今が試金石な訳です。早く組織を作って自分たちで決める、これが筋書きだと思います。次回選出をしたい。問題になったら変えればいい。動きながら前向きにやっていくのが第一歩だと思います。問題になればこのように議論しましょう。提案ですが、運営委員は各班2名。これで決めて次回に来る、来ない人を含め、やりたい人は手を挙げて推薦する人はして、やりましょう。合意事項にしましょう。(拍手)

- :(2時30分)いま来たのですが、最後の30分で進め方を議論するということだったのに、連絡してもらわないと困る。そして、運営委員を2人に絞るのでなく、運営に関わりたい人は、30人でも全員入れる制度にしてはどうか。
- :一応、会議は1時から時間厳守でやっていますのでお願いします。本日の検討としましては、地域安全の検討と運営委員会の検討30分程度としています。運営委員会についてまとめないと落ち着いてテーマ検討に入れられないため、その部分で時間が延びているのが現状です。
- ◎:とりあえず1時間半かけて議論してきた面がありますので、ここは留めさせてもらうということでよろしいですか？
- :本日、発言されている方は4分の1くらい。ここでの発言には勇気があることだと思います。感想カードでも、ご意見は頂けますので、ご利用いただければと思います。
- :いろいろ決まりましたが、これからバリエーションについて、つめてはどうか。次は入り口論やめて、芽をどんどん出しましょう。時間がなくなります。
- ◎:今日は、残った時間で地域安全の問題を話してはどうかと思います。選出方法について自薦・他薦のご意見はありますか。
- :区長さんとの討論も始まって官々諤々のときに運営委員から何名か出た形で、最後はピラミッド型の形を考えるのか？
- ◎:分科会リーダーを運営委員会から選出するのかしないのかも含めて、みなさんで話し合う。
- :折衷案ではないですが、まずは運営委員会をつくり、その中で運営委員の人選に問題があればリコール制度を創ってはどうか。外国人の方を入れるという方針に決まればそうするとか。まずは運営委員会を発足させることです。
- ◎:それでは、ずいぶん白熱してきた面もございますが、次回、各班で2名ずつ、自薦・他薦で運営委員を決定していくと。次の会議の冒頭、一番始めの議題として運営委員を選出することをやっていきます。リコールもありで、おかしくなれば変えていくということで。班長は、C案で考えている。
- :本日の欠席者への対応はどうするのか。
- :本日の欠席者については、早急に本日の決まったことや委員選出に対する意見が提出できるよう、また次回欠席しなければならない委員の方も意見が出せるよう対応し、参加者、欠席者の意見が網羅できるよう、揃えさせていただきます。
- ◎:では、残りの時間は今日の運営委員会の議論を含め、検討して頂きたいと思いますのでよろしくをお願いします。

3. 検討 (省略)

4. 次回の会議開催

- :では、次回の会議ですが、地域安全については、現在十分な議論もしていない中で発表していくことは不可能です。また、当初の予定では、次回は多文化共生をテーマに

検討するつもりでしたので、会場を大久保地域センター多目的ホールに、10月15日分(発表用)も押さえています。提案ですが、次回会議の冒頭で運営委員の選出までを行い、その後「多文化共生」のレクチャーとして、区の担当者から現状の説明や、ご承諾も頂いていませんが、日ごろ活動されている NPO の方の報告、外国の方からの視点からのご意見を頂く。そこで、地域安全はどうするのかですが、これも運営委員会の中で、「検討と発表」の形で進めるのか検討いただきますが、次回は地域安全と多文化共生について班ごとに検討や話をしていくということでいかがですか。また、15日の帰りには、街歩きとして、大久保ツアーなどもできれば良いのではと思います。

また、運営委員の方には、申し訳ありませんが次回の会議終了後にお集まりいただき、15日以降のことについて、お話いただくことになるかと思えます。そういうことはいかがでしょうか。(拍手)

では、今日はこういう形で、一度お開きにします。30分程度なら、本日このままお話しいただいても結構です。今日はこれで終了させていただきます。

<決定事項>

■ 運営委員会の構成

区民委員 各班2名×7班=14名

学識委員 3名

■ 区民委員からの選出は次回(10/1)。(自薦・他薦)

■ 運営方針などは、選出された運営委員で決めていく。

■ 10月1日に行うこと

1. 運営委員選出
2. 区職員からの現状説明
3. 区民委員からの報告(NPO など3名程度)
4. テーマ検討(地域安全、多分化共生)

<次回日程>

- ・ 10月1日(土) 13時~15時 大久保地域センター多目的ホール(4階)
- ・